南アルプス　池山吊尾根～北岳
2009/12/31～2010/1/3
メンバー：L．菊地、奥平（記）

　昨年の年末に計画した五竜～唐松に行きたいと考えていたが、思うようにメンバーが集まらず１２月には私一人になってしまい、計画変更を余儀なくされていたところ、単独で北岳に行こうとしている菊地さんに吸収される形で私も正月山行ができることになった。夜叉神峠から池山御池小屋～ボーコンの頭～八本歯のコル～北岳に向い往路下山の往復コースで、数年前にも同コースを行こうとして天候悪く、ボーコンの頭まで行ったところで引き返したことがある。その時も菊地さんと一緒だった。今回はぜひ頂上まで行きましょうと二人の意気込みは一致している。とはいえ、意気込みだけでは山に登れない。日頃から山には何はさておき体力が無いとダメ、技術や経験はあった方が良いが体力が無ければ圧倒的に不利だと言ってきた私が体力不足に悩まされることになる。

　前日に夜叉神に入り、３１日朝駐車場を出発。トンネルのところにゲートがあり、大きな荷物をしょっている二人は入れないかと思ったが、シャッターをあけて土嚢を動かせば荷物を入れられる。暗いトンネルを通っていると次第に前に来たときの思い出がよみがえってきて、歩くスピードも捗ってくる。鷲ノ住山を越えて発電所を過ぎあるき沢橋へ。ここまでは適当に休みを取っているが順調なペースだったが、この先の急登を含む登りでバテてしまった。菊地さんに負けないように張り切っていたところ、休憩のときに気分転換して水を飲んだりすれば良かったのに、出し入れが億劫で省略したことが状況をさらに悪化させてシャリバテになってしまった。池の近くの平坦な道でも次の一歩が出ない。池山御池小屋近くのテン場に菊地さんからだいぶ遅れて到着した時には整地がほぼ終わっており、疲労困憊で使い物にならない私はテントを出して、菊地さんに張ってもらったテントに転がり込むのが精いっぱいだった。テントの中でも震えと鼻水が止まらず、近くで泊まっていることを知っている山本パーティに声をかけに行くこともできなかった。調子を大分取り戻してきてから山本パーティのテントに合流して歓談。明日は天気が悪いので山本パーティは下山、我々は私が調子を取り戻すのを待つために少し前進してから停滞と決めた。

　翌元旦、天気は思ったより悪くないが頂上付近は荒れているからなのか続々下山してくる人と出会う。砂払い付近までベースをあげる。缶詰ほか大量の食材を

山本パーティから譲り受けたので正月のような停滞ができた。

１月２日、ベースを残してピストンで行ける所までとリーダーは言っているが、二人とも当然頂上を踏むことを考えている。今日も昨日より天気が良く、出発前に少し難しいと思っていた八本歯も特に難儀ではなかった。体力も停滞をしたおかげで十分回復しているため、これなら登頂可能と思っていたところ、北岳へあがる稜線前に出たとき状況は一変した。今までに受けたことのない猛烈な風が吹いていて、立って歩くことができない。四つん這いで這いつくばっているのがやっとだ。下手に動こうとすると風で飛ばされてしまうかもしれない。天気がそれほど悪くないのに続々下山してくる人に逢う意味がここにきてわかった。ゴーグルとネックウォーマーでここまでは来られたが、寒くて行けないのであわててシマダマスクを取り出して装備を直す。風のタイミングを見て少しずつ前に進み、稜線へ出ると幾分風は和らぐが、それでも油断は禁物だ。下にいる時は富士山も見える天気だったのに、この辺りはあまり視界が無い。しばらく我慢して歩いて行くと見覚えのあるだんごの標識が見えた。頂上だ、やった、リーダー寒いから早く戻ろう、と思っていたところ、菊地さんは頂上付近の写真にこだわっているようでカメラを温めてバッテリーの回復を待ったり、携帯電話のカメラを試したりしている。私のカメラも電池を替えたばかりなので容量は十分のはずだが、シャッターを切ろうとすると電源が落ちてしまう。もう寒いから早く戻ろうと何度も促して、やっとのことで下山にかかった。下山途中の一番風の強い所で単独行の人と出会い、３人で這いつくばってさっきと同じように風のタイミングを見る。風が強くて大変だから辞めておいた方が良いですよと余計なことを告げると一緒に下山する事になった。さらに降りたところで単独行の人を見ると少し顔が凍傷になっているようだ。我々はベースをあげておいたおかげで無理なく戻ることができた。

１月３日、今日は下山のみ。奈良田へ戻る人のことを考えたら私たちの道は短いと言い聞かせて歩を進めるが、最近山に行く回数が減って足の裏に豆ができて水泡になり、足が地面に着くたびに痛く、下山も菊地さんにだいぶ遅れを取ってしまった。下山後に鏡を見てみると、マスクとゴーグルの隙間の部分が擦過傷のような凍傷になっている。この程度の傷で済んで幸運だった。

それにしてもチーフリーダーは強い。同じように山に行っていなかったような気もするが、菊地さんの安定感は抜群だ

った。チーフリーダーと正月山行できる
喜び、また一緒に行きましょう。今度は
きちんと調整しておきます。

コースタイム：
12月31日
　鷲住山入口８：００
８：１５～あるき沢橋１０：００
１０：２０～池山小屋１４：００
１月１日
　小屋１０：３０
～２５９０m付近１２：３５
１月２日
　２５９０m付近８：１０
～ボーコン頭８：４５
～八本歯のコル１０：１０
～北岳肩１１：１０
１１：２０～北岳１１：４５
１２：０５～八本歯のコル１２：５５
１月３日
　２５９０m付近７：００
～鷲住山１１：５５・１２：１０
～夜叉神峠口１４：００

地形図：夜叉神峠、鳳凰山、千丈ヶ岳
（1/25000）